

# 平成30年度個別事業の紹介について

本市においては、平成27年国勢調査における人口が5万人を下回るなど、若者の流出をはじめとした人口減少及び少子高齢化が急激に進行しています。また、これに伴って、地域全体の活力が低下していくことが懸念されることから、地域活力の維持・創出に向けて、行政だけではなく市民や関係団体などが手をとり合って様々な対策を実施していく必要があります。

このことから、平成30年度予算は「ストップ・ザ・少子化」のスローガンのもと、本市における合計特殊出生率の増を目指した「出生祝い制度」の創設や、小学校における外国語教育の充実など、昨年度に引き続き子育て支援や学校教育の充実に重点をおいた人口減少対策を重視するとともに、緊急浸水対策計画の策定や地域商品券による地域内消費の拡大、新文化施設の整備などの「氷見元気プロジェクト」に掲げる事業へ重点的に予算を配分し、第8次氷見市総合計画が目指す「人 自然 食を未来につなぐ交流都市ひみ」の実現に向け、総合的な事業展開を強力に推進するための予算となっています。

次ページからは、平成30年度において取り組む事業について、第8次氷見市総合計画に定める4つの基本目標とその基本目標に基づく16の政策ごとに説明しておりますので、個別の事業がどのような未来につながっていくのかをイメージしながら読み進めていただけたら幸いです。

# 第8次総合計画

## 基本目標及び政策

### I 暮らしづくり

- ① 安全で安心につつまれた生活の確保
- ② 健やかで心安らかな暮らしの充実
- ③ 利便性の高い生活基盤の整備
- ④ 自然と調和した生活空間の創造

### II 人づくり

- ① 親子の笑顔がきらめく環境の整備
- ② 「生きる力」をはぐくむ教育の充実
- ③ 学びによる豊かな人生の創造
- ④ 地域を支える市民活動の活性化

### III 元気づくり

- ① 氷見の食・ブランドの確立
- ② 地域特性を生かした産業の振興
- ③ 競争力の高い魅力ある観光都市の形成
- ④ 将来に夢が持てる雇用の創出
- ⑤ 多様で活発な交流の促進

### IV 持続可能な自治体経営の確立

- ① 誰もが主役のまちづくりの推進
- ② スリムでわかりやすい行政の実現
- ③ 周辺団体や国・県等との連携強化

# 個別事業の紹介の見方

## ①新規・拡充・継続の別

新規:平成30年度に新たに取り組む事業です。  
 拡充:平成29年度継続事業のうち、内容を拡充した事業です。  
 継続:平成29年度に引き続き実施する事業です。

## ②事業費

この事業に必要な費用の合計を記載しています。

## ③事業の担当課及び電話番号

この事業を行う課名及び電話番号です。

**拡充** 魚食文化リーディング事業費

3,859万円

(前年度) 4,047万円

担当課 商工観光課

電話番号 74-8089

### 1. 本市の現状と課題

魚食離れが進行するなかにおいて、市内の漁業関連事業者の減少が懸念されています。「魚食文化をリードするまち氷見」の実現をより確実、強固なものにするためには、魚食を広くPRし消費拡大による関連事業者の売上を向上させることが

## ④事業の内容

この事業の目的や、具体的に何を行うか、どのような効果が期待されるのかを記載しています。

### 2. 平成30年度事業の内容

魚食だけでなく農畜産物など本市の食全般に対象を拡大し、旬の食を楽しむイベントの開催や、新商品開発、アンテナショップ開設などによる販路拡大などに取り組み、本市の食文化を発信します。

### 3. 目標値または実施により求める効果

消費の拡大により、生産者、販売者の安定した事業経営を図り、未来にわたり本市の豊かな食文化を守ります。

(単位:万円)

財源	国の負担	1,921	経費内訳	負担金	3,664
	基金繰入金	1,900		報償費	125
	市の負担	38		その他	70



キッチンカーを活用した食育教室

## ⑤財源

この事業を実施するために必要なお金がどこから来ているかを記載しています。

国の負担	国庫補助金など国から来るお金
県の負担	県補助金など県から来るお金
市債	事業を実施するため、金融機関や国から借りるお金
その他	事業を実施することにより、利益を受ける方からいただく負担金や施設の使用料、寄附金など
市の負担	市のお金(一般財源)

## ⑥経費内訳

財源が、主にどのような費目として支出されているかを記載しています。